

令和2年3月13日

保護者各位

鹿児島市立宮川小学校

令和2年度「鹿児島学習定着度調査」の結果について

令和3年1月に実施した「鹿児島学習定着度調査」の結果についてお知らせいたします。本調査内容は学習指導要領全体を網羅するものではなく、児童が身に付けるべき学力の一端の調査であることをご承知おきください。

今後は、本調査から得られた情報をもとに、確かな学力を身につけるための授業改善につなげていきますので、本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願いします。

1 調査結果について

(1) 各教科平均通過率から

	国語	社会	算数	理科
市との比較	上回っている	上回っている	上回っている	上回っている
県との比較	上回っている	上回っている	上回っている	上回っている

(2) 児童質問紙の結果から

- ・ 家庭学習では、練習問題を解いたり教科書を書き写したりする児童が多いが、自分で計画を立てて予習や調べ学習に取り組んでいる児童もいる。
- ・ 授業では、「先生の説明を聞いたり自分でじっくりと考え、自分の考えをまとめる活動」が多いと答えている児童が多く、「手順や方法を考える」「考えを出し合ったり教えあったりする」「タブレットやパソコンを活用する」が多いと答えている児童は少ない。
- ・ とてもやりがいを感じる授業として「難しい課題に挑戦する授業」「自分たちで考えたり話し合ったりする授業」「タブレットやパソコンを活用し、自分たちで調べて課題を解決する授業」などを挙げている。

2 各教科の課題を踏まえた今後の対応

	課題	今後の対応
国語	・ 読み取った内容を、与えられた条件に沿って百字程度でまとめる問題の正答率が低い。	・ 決められた条件や文字数で自分の考えや読み取った内容を書く活動を授業の中で日常的に実践し、日頃から書く習慣を身に付けさせる。
社会	・ 表やグラフから読み取れる情報について、正しい説明を選んだり、どんなことが分かるか自分の言葉で説明したりする問題の正答率が低い。	・ 表やグラフのどこに着目して読み取ったのか自分の言葉で説明する活動を授業で実践する。 ・ 資料から読み取れることを、要約して端的に説明する活動に繰り返し取り組む。
算数	・ 表やグラフをもとに、提示された考えの正誤について、式や言葉を使って理由を説明する問題の正答率が低い。	・ 自分の考えや、その考えの根拠となる情報について式や言葉を使って説明する活動を授業で取り組む。 ・ 複数の資料を用いて問いに答える問題に取り組む場を設定する。
理科	・ 問題文に書かれている多くの情報の中から必要な情報だけを読み取り、聞かれてことに回答する問題の正答率が低い。	・ 一問一答の知識を問う授業や練習問題だけではなく、学習問題の予想を確実に考えさせ、なぜそのようになったのか理由を明確に説明させる授業に取り組む。